

牧溪郷

学校の教育目標
自ら考え
正しく判断し
やりぬく生徒



Email minokita-jh@edu.city.mino.gifu.jp

HP <http://www.edu.city.mino.gifu.jp/minokita-jh>

新入生歓迎会

4月14日、新入生歓迎会がおこなわれました。時間がなくても、生徒会執行部が準備をして進めてくれました。

生徒会副会長のあいさつでは、係決めを控えた1年生に「どの係も大切であり自分の意志や願いをもって決めることが大事」だということや、2, 3年生に「後輩ができたという自覚をもって生徒会活動に積極的に参加してほしい」という願いを伝えました。

その後、プレゼンテーションを使って、1年間の行事の内容を説明しました。1年生の高賀山研修、2年生の答志島研修、3年生の首都研修（本年度は大阪での研修になりましたが）の目的や様子がわかったと思います。また、体育祭、合唱交流会、立志のつどいでは、何を目的としてどんな活動をしてきたかを説明しました。1年生の生徒は、中学校生活がどんなものかをそれぞれにイメージできたことだと思います。

続いて、各委員会の活動内容などについて委員長が説明しました。中学校生活を支える大切なものとして委員会活動が理解できたと思います。

その後の部活動の紹介では、実際の動きも交えながら、それぞれの部活の魅力をアピールしました。1年生は真剣なまなざしで各部の紹介を聞き、部活への意欲を高めていました。

最後に合唱を交流しました。2年生は「COSMOS」、3年生は「虹」、全校合唱（2, 3年生）は「思い出がいっぱい」を歌って1年生を歓迎しました。1年生は「翼をだいて」を歌ってよろしくお願ひしますの気持ちを表しました。それぞれ心を込めた素晴らしい歌声で、1年生のさわやかな歌声と、2・3年生の堂々とした歌声が体育館に響きました。特に3年生は、最高学年＝学校の顔としての姿を合唱を通して示すことができました。

最後に、生徒会長が生徒会活動のローガンを提案し、意見交流をしました。昨年度に比べて発言者が多く、活発な交流ができました。

1年生の感想を抜粋して紹介します。

(略)委員会の紹介がありました。まだ決めてないけど、どれに入っても一生懸命やりたいです。合唱を聞かせてもらって、男の人もしっかり声を出していたので、すごいと思いました。全校合唱では女の人と男の人がすごくきれいに二部になっていて、私もそのような声を出せるようになります。部活はバスケットに入ろうと思いました。生徒会では意見が言えませんでした。敦矢先輩が言ったように、ここがスタートと思ってやりたいです。

(略)ぼくは2, 3年生の合唱を聞いてすごいなあと思いました。僕も2, 3年生みたいに歌えるようになりたいと思いました。ぼくたちが歌うときには、精一杯歌うことができましたのでよかったです。これからも合唱を頑張ろうと思いました。

(略)私は静かに姿勢を正して、人の話をしっかり聞くことができたのでよかったです。また、2, 3年生の人の合唱が強弱がついていて、とてもきれいな歌声だったので、すごいと思いました。私は精一杯歌うことができたのでよかったです。でも交流会のときは手を挙げるできませんでした。だから次の交流会では、意見をまとめて手を挙げられるようにがんばりたいです。



《1年生の合唱》



《2・3年生の合唱》



《部活紹介のひとつま》

生徒総会

4月26日、生徒総会がありました。執行部が提案した生徒会活動スローガンには、「最後の北中を最高の姿で」という願いが込められています。これに近づくために、執行部や各委員会の活動目標や活動計画が提案され、意見交換を経て承認されました。1年生も含めたくさんの生徒が意見を発したり質問をしたりすることができました。

最後の1年をBESTなものにしていくために、執行部と各委員会の活躍と生徒全員の積極的なかわりを期待しています。



《生徒会スローガン》



《各委員会の委員会目標》

生活委員会	Pride～あたり前のことをあたり前に～
保健給食委員会	Do nice habit ～去年より良い習慣にするという意味を込めて～
環境委員会	Beautiful Life
文化委員会	Sing for～合唱を通して仲間関係を築き上げる～
図書委員会	Books Network
広報委員会	つなぐ

子育てコラム

お金目当てでは楽しめない＝脳科学実験で初確認 (2010.11.16 時事通信の記事より)

面白いことでもお金稼ぎが目的になると楽しめなくなり、自発的なやる気が低下することが、脳活動の変化として裏付けられた。玉川大の松元健二准教授やドイツ・ミュンヘン大の村山航研究員らが15日までに行った実験の成果で、米科学アカデミー紀要電子版に発表される。これまで心理学の行動実験では知られていたが、脳科学実験で確認されたのは初めて。教育上の参考になりそうだ。

松元准教授によると、勉強やボランティア活動をしている子供に、思い掛けない褒美をあげるのは励ましになる。しかし、最初から成績に応じた小遣いを約束すると、「やらされている」感覚が生じ、小遣いをもらえなくなったときに意欲が低下する恐れがあるという。

子供の意欲というものは不思議なものです。大人が良かれと思ってやったことでも、期待通りの効果が出なかったり、時には意図せずしてマイナスの結果につながったりすることもあります。どのようにして子供の意欲を喚起させるのかは、私たち教師も親も、永遠のテーマだと思います。遠回りに思えるかもしれませんが、目先のことで動かすのではなく、物事の意味や本質の大切さを発達や状況に応じてわからせていくことが大切なのではないかと改めて感じました。

5月の主な行事予定

- 5/11～13(水～金) 2年答志島研修
- 5/18～20(水～金) 3年都市研修(大阪方面)
- 5/26・27(木・金) 1年高賀山研修
- 5/29(日) クリーン・ザ・みの
- * 5/6～20 交通安全指導

6月の主な行事予定

- 11(土) 地区陸上大会
- 27・28(月・火) 期末テスト
- 29(水) 市教研
- 30(木) 保護者・地域参観日
進路を考える会(3年)



